

11/14 中札内高等養護学校幕別分校・幕別小の合同学習



どんなランチョンマットができるのかな？

中札内高等養護学校幕別分校の3年生4人が幕別小1年生(26人)の教室を訪れ、「カラフルランチョンマット大作戦!!」と題した合同学習を行いました。1年生が描いた果物の絵をモチーフに、分校生徒がランチョンマットをデザイン・制作し、来年度の分校、幕別小の新1年生にプレゼントする試み。子どもたちは分校生徒を「先生」と呼び、クレヨンで思い思いにかわいらしい果物を描きました。



11/11



町内小・中学校に備品を寄贈

学校、子どもを支援したい

幕別ライオンズクラブ(大上 真一会長)から、町内の小・中学校3校に備品の寄贈をいただき、教育委員会を訪れた長谷川 隆照幹事、清水 佑輔会計に教育長が感謝を伝えました。白人小学校に「ティーボール」、明倫小学校に「スクールタイマー、Chromecast」、糠内中学校に「椅子」をいただき、長谷川幹事は「教育行政に有効に使ってほしい」と話しました。今後も毎年、小・中学校に寄贈を継続していただけるそうです。



ま ち の わ だ い

町内の主なできごとと、頑張っているみなさんの姿をお伝えします！



10/22



ナウマン象発掘調査

12万年前の地層に想いをらせて

10月21日～27日にナウマン象化石発掘跡地で発掘調査を実施しました。調査2日目の22日には、現地学習で訪れた忠類中学校の生徒が昆虫の羽化石を発見しました。大きさは約4mmほどで、太古のものとは思えないほど、緑色の金属光沢がとても美しく、見つけた子どもたちは大喜びでした。



10/23



地域連携マイプロジェクト

地域の人たちとともに学ぶ

幕別清陵高等学校の総合的な探求授業の中で、町内の様々な職種の方々と交流を図る「地域連携マイプロジェクト」の講師との顔合わせが行われました。今年で2回目となる今学習では、生徒がそれぞれ1年間かけて興味のある内容について学習し、自分たちで地域でのプロジェクトを計画・実践していきます。

コーディネーターの福島さんは「学校では学べないことを学べる機会になる。自分の将来の選択肢を広げられる活動になればいい」とマイプロジェクトへの期待を語りました。

ナウマン象の親子に

あったか〜いプレゼント！！

忠類ナウマン象記念館前と札内のスマイルパークに設置された親子のナウマン象復元模型に今年もブランケットとマフラーが届けられました。

4頭のナウマン象は愛情がこもった手作りの防寒具を着せてもらい、冬を迎える準備をすることができました。

▶忠類ナウマン象記念館前

地域のボランティアグループ「五人会」のみなさんからの寄贈です。赤やオレンジ、ピンクなどの色とりどりのモチーフが印象的なデザインです。忠類中学校の1年生が脚立に登り、2頭に着せる手伝いをしてくれました。

▶スマイルパーク

「くまげらサークル」のみなさんからの寄贈です。六角形のカラフルなモチーフをつなげて作ったそうです。寄贈式には札内青葉保育園の年長園児も参加しました。ナウマン象の親子は子どもたちに大人気で、2頭の体に触れたり足元をくぐったりして、みんなで仲良く遊びました。



10/29



ゴミ収集車マグネットシール完成

ゴミを減らして笑顔を増やそう

忠類小学校の4年生が描いたゴミに関する絵が、ゴミ収集車に貼るマグネットシールになりました。海のゴミを題材にした絵では、きれいな海と汚れた海との違いを海の生きもので描き、分かりやすく表していました。

今後は、マグネットシールを貼ったゴミ収集車で町内を周り、ゴミの少ない町づくりを呼びかけます。



11/10



札内中学校開校50周年記念式典

50周年の節目を祝って

札内中学校(石丸 揚一朗校長、生徒355人)の開校50周年記念式典が開かれ、生徒や教員、関係者約500人が節目を祝いました。記念事業協賛会の田口 真之介会長が「未来を見据えた教育で強く心優しい生徒を育ててほしい」と式辞を述べたほか、50年の歴史をスライドで上映。最後に生徒による合唱が式典に花を添えました。





▶地球を守る。未来を守る。そのために今できることを。

環境ナビ

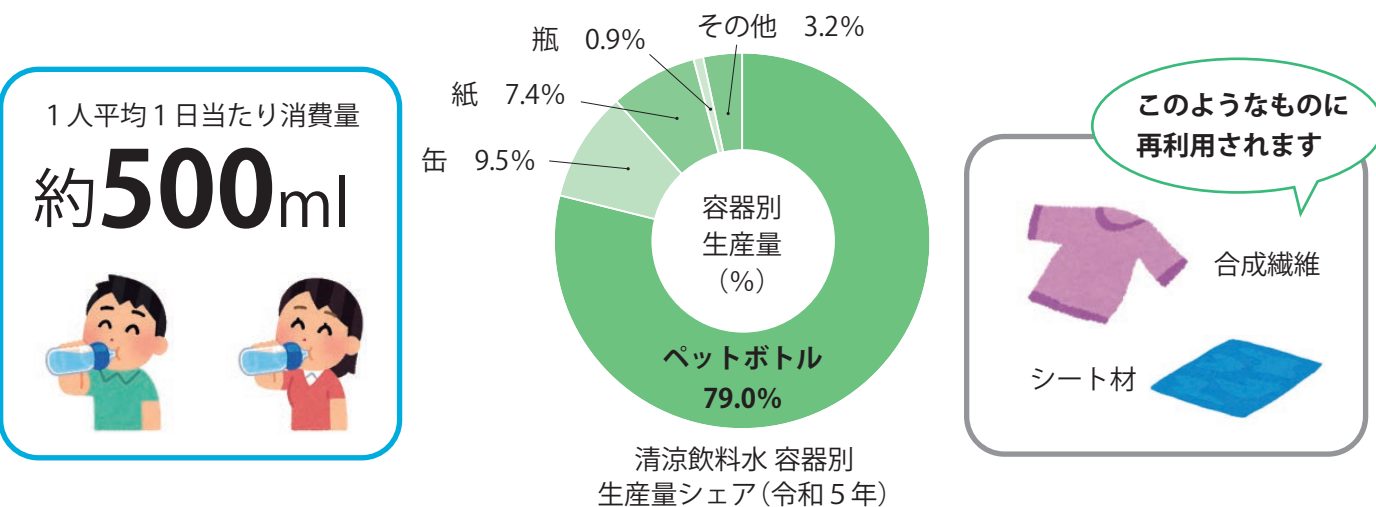
防災環境課
地域環境係
(☎54-6601)

◆ペットボトルのリサイクル

ペットボトルは、リサイクルしやすいプラスチックで作られており、令和4年度に販売されたペットボトルのうち、86.9%がリサイクルされています。

清涼飲料水は1人平均1日当たり約500ml消費されています。清涼飲料水の約8割がペットボトル入りで生産されており、ペットボトルのリサイクルはとても重要な取り組みです。

幕別町で回収したペットボトルは、シート材や合成繊維として再利用しています。
今後ともリサイクルへの取り組み、ごみの分別に協力ください。



◆汚れの取れないごみは燃やせないごみへ

汚れているごみは資源ごみとして回収することができません。特に、油が入っていたペットボトルは、水洗いだけでは油が取れず、リサイクルできない物が多いです。汚れが取れない場合は燃やせないごみで排出してください。



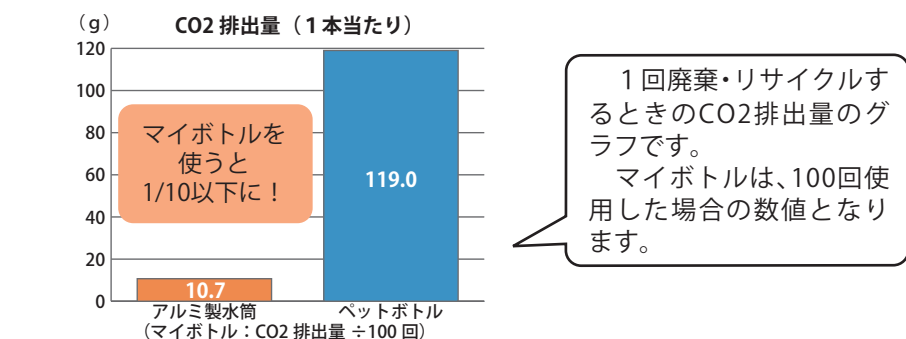
◆マイボトルと使い捨て容器

水筒やタンブラーのような、繰り返し使用できる容器のことをマイボトルといます。

ペットボトルと比較した場合、100回使用当たりのCO2排出量は約10分の1程度となり、環境に優しく、ごみを減らすことができます。

また、マイボトルでインスタントコーヒーやティーバッグを持参した場合と比べ、ペットボトルなどの使い捨て容器は割高になってしまいます。

環境にも財布にも優しいマイボトルの使用を検討してみてください。



テーマ 地震に備える③

「後発地震注意情報」を知ろう!

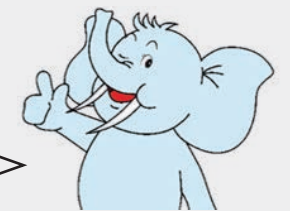
北海道・三陸沖後発地震注意情報について

北海道・三陸沖後発地震注意情報(以下「後発地震注意情報」とは、日本海溝・千島海溝周辺でマグニチュード7.0以上の大きな地震があった場合に、周辺でさらに大きな地震が発生する可能性があることへの注意を促す情報であり、内閣府・気象庁から発信されるものです。

後発地震注意情報が発信された場合に
防災対応を取るべきエリア



色が付いているエリアが災害対応を取るべきエリアだよ。
幕別町もエリア内だね。後発地震注意情報が発信されたら、注意する必要があるよ。



日本海溝・千島海溝周辺でマグニチュード7.0以上の地震が発生した後に、さらに大きな規模の地震が発生した事例が東日本大震災だよ。

東日本大震災のときは

3月9日
M7.3

続いて発生

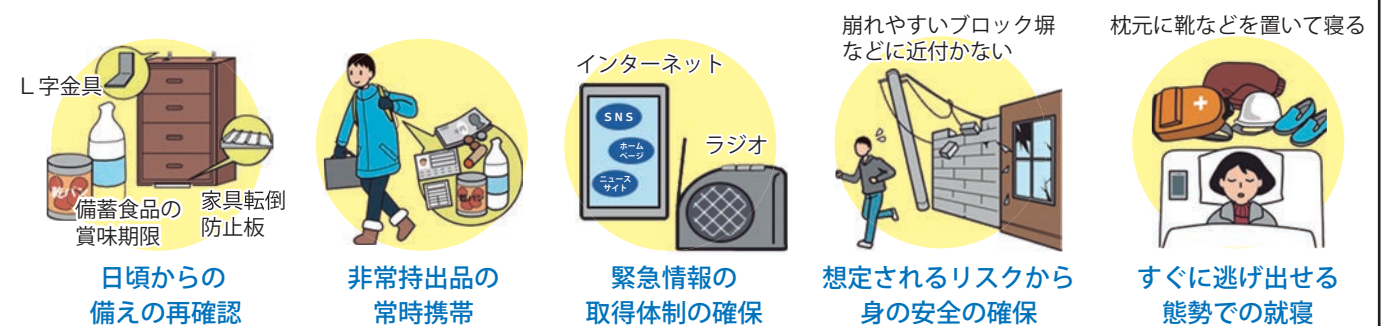
3月11日
M9.0

※後発地震注意情報が発信されたからといって、必ず巨大地震が発生するというものではありません。

後発地震注意情報が発信されたら

幕別町では、防災行政無線や防災情報メール、幕別町防災公式LINEなどで日頃からの地震への備えの再確認や、地震発生後、特に1週間の間は、揺れを感じたら直ちに避難できる態勢を整えるように呼び掛けを行います。

下の図を参考に、後発地震の発生に備えた防災対応を取りましょう。



最後に

地震が来ることは予測できません。大切なことは、日頃から備えをしておくことです。冬本番の災害を想定して、備蓄品や非常持出品などを確認しておきましょう。



▶防災情報メール

二次元コードから、または下記アドレスへ空メールを送信し、登録ください。

touroku.makubetsu-town@raidan.ktaiwork.jp



▶幕別町防災公式LINE

二次元コードを読み込み「友だちに追加」で登録ください。

ID検索はコチラ⇒⇒@makubetsu